

(様式第4号)

上田市 西部公民館運営審議会 会議概要

1 審議会名	西部公民館運営審議会
2 日時	令和3年3月29日 午後1時30分から3時まで
3 会場	西部公民館 大ホール
4 出席者	山崎順子会長、千野敬治副会長、茨木信行委員、西田美鈴委員
5 市側出席者	小山由紀子館長、小澤敦子次長、中部通男主査、滝沢太貴主事、滝沢武彦社会教育指導員、松山あずさ社会教育指導員、中沢靖子臨時、三浦英雄塩尻地区公民館管理
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和3年4月6日

協 議 事 項 等

- 1 開会
 - 2 会長あいさつ
 - 3 審議内容
 - (1) 今年度事業の実施状況について
 - (2) 来年度事業の主な計画について
(事前送付資料について、公民館職員から担当箇所(事業等)の説明)
- (事務局) - 公民館の現状と喫緊の課題を説明 -
- (委員) 冷暖房費の徴収については、利用者団体などに意見を聞くことはあるのか。
- (事務局) 委員の皆さんに団体等の線引きなどで意見を聞くことはあるかもしれない。
- (委員) 利用者団体の会の設立については、公民館まつりの運営や掃除のお茶代などに会費を充て運営している公民館もあるので参考にして欲しい。
- (委員) 学校支援・信州型コミュニティスクールについては、地域のコーディネーターが無償で継続・引き継いでいくことの限界。市教委がもう少し決めてくれてもいいのではと思う。コーディネーターの横のつながりも少ないので、せめて西部・塩尻地域の4校でも実施して欲しい。学校によって公民館のかかわりに差があるのはどうかと思う。
- (事務局) いろいろなやり方があるが、学校側だけでは教頭先生か担当の先生の負担となり難しい。公民館か地域側にコーディネーターは必要。個人でコーディネーターを担っている地域の方の位置付けについて検討が必要か。
- (委員) 子どもたちが早いうちから自然と接したり、公民館に来る機会があるといい。
- (委員) 公民館が新型コロナワクチン接種会場になる等のような重要なお知らせ等は、月1回の回覧では不十分ではないか。公民館だよりがこういうことになっているとは知らなかった。HPやSNS等は皆が皆見られる訳ではないし、今の情報伝達が上手くいっているとは決して言えないと思う。
- 現在のような災害やコロナで緊急性の高い情報を見逃したでは済まない。社会教育委員からの提言にもあったが、声を上げていかないと変わらない。公民館だよりの配布方法について改善されていかない。
- (委員) 西部まちづくりの会との連携に関して、自治会、地域協議会、住民自治組織、それぞれの組織を分かりやすく説明できり人は少ないと思う。市では是非整理して欲しいし、継承していく子育て世代にどう伝えていくかが課題だと思う。

(事務局) 全市的問題であり、検討が必要な審議会等については担当課で取り組んでいる。

(委員) 人権教育等は少なくとも自治会長や指導員等の関係者だけでも必要な会議・研修会としてやったほうがいい。

(事務局) 介護相談会等も含めて、コロナ禍だからこそ実施すべき事業は大切にしたい。

(3) その他

(委員) 成人式の中学校単位は、地元中学校に通っていなかった成人には、式に行きづらい理由となる。そういった生徒は増えており、是非見直しをお願いしたい。

4 その他

(本会議は、新型コロナウイルス感染症の状況から、会場を第4会議室から大ホールに変更して実施した)